

教保第1397号

令和3年5月27日

私学課長 様

保健体育課長

2021年度「だしで味わう和食の日」の周知について（依頼）

標記について、別添（写し）のとおり一般社団法人和食文化国民会議から依頼がありました。
については、貴所管学校に周知いただきますようお願いいたします。

配付用資料（子ども用、教員用）及びポスターの内容等については、一般社団法人和食文
国民会議のURL（<http://washokujapan.jp/dashi-document/>）よりご確認ください。

なお、保健体育課では本事業への参加の取りまとめ等を行いません。

【連絡先】

保健体育課 保健・給食グループ 中川 明久美

電話：06-6944-6903（直通）

F A X：06-6941-4815

E-Mail：NakagawaMe@mbx.pref.osaka.lg.jp



伝えよう、和食文化を。

一般社団法人和食文化国民会議

〒110-0015 東京都台東区東上野1-13-2 成田第2ビル 4階B

Tel.03-5817-4915 Fax.03-5817-4916

<http://washokujapan.jp>

2021年度「だしで味わう和食の日」企画実施協力をお願い

平素より、私ども一般社団法人和食文化国民会議（略称：和食会議）の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。厚く御礼申しあげます。

和食会議は、ユネスコに登録された和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、和食文化を次世代へ継承するため、農林水産省をはじめ関係各省庁と連携しながら、その価値を国民全体で共有する活動を展開しています。その活動の大きな柱として、私どもが制定し、全国的に定着しつつある11月24日「和食の日」を中心に、子どもたちに和食文化に触れる機会を提供する「だしで味わう和食の日」という企画を、2015年より全国の小・中学校、保育所等を対象として実施してまいりました。規模は年々拡大し、6年目となりました。昨年は前年より3割増え、全国で12,498ヶ所、約286万人を超える子どもたちに参加いただくことができました。本年も、この運動をさらに大きくするため、文部科学省、農林水産省、厚生労働省の後援をいただきながら全国の都道府県、市区町村の教育委員会、子育て支援課等保育所ご担当部署を対象に企画の周知、協力要請活動を開始致しました。

依然としてコロナ禍の状況にありますが、和食文化を継承していくことの重要性は不変です。家族で過ごす時間が増えてはいるものの家庭において伝統的な和食文化を伝えることは非常に難しくなっているのが現状で、学校等の給食の果たす役割は非常に大きくなっているといえましょう。幼少期は食の大切さを学ぶ上でも、また味覚形成の上でも大変重要な時期です。この時期に本物の「だし」の「うま味」を体感することは、幼い頃の記憶として鮮明に残り、和食文化に興味を持つきっかけにもなります。

具体的な内容につきましては、同封のパンフレット及び資料サンプルをご覧ください。当団体のホームページ <https://washokujapan.jp/dashi-document/> にも順次掲載いたします。自治体や給食センター毎に複数お取りまとめの上でお申し込みいただくことを推奨してまいりましたが昨年も99%以上がこの方法でした。参加方法も複数用意しており、より参加し易い方法も選択できるようになりました。お取りまとめの上お申し込みいただいた場合は、カラー印刷した子ども用兼保護者用資料、またはポスターを必要枚数ご指定の場所に一括配送させていただきます。また、当法人が提供する「和食の日」のロゴやイラスト、テキストなどを、給食だよりなどに活用、配布して参加することもできます。下記ホームページに掲載しておりますお取りまとめ申込みフォームをダウンロードの上、入力いただきメールでお申し込みください。 <https://washokujapan.jp/dashi-document/>

和食会議では今後もこのような機会を毎年、継続的に作ってまいります。趣旨をお汲み取りいただき、「だしで味わう和食の日」企画の実施に向け、ご協力賜りますようよろしくお取り計らいの程、お願い申しあげます。

2021年5月

一般社団法人和食文化国民会議

会長 伏木 亨

「和食の日」に学校給食で和食の基本である「うま味」を郷土の味覚、だしで味わうことは食育基本法や学校給食法の趣旨に則しつつ、ユネスコの求める日本人の伝統的な食文化の保護・継承の機運の醸成に貢献し、郷土の風土を学ぶことにつながります。和食は、栄養バランスに優れており、和食の要である「だし」のうま味を活用するこ

とで満足感が得られ減塩につながります。和食文化を大切にしてい日々の生活に活かすことは全ての世代の健康に寄与します。ぜひ、この取り組みにご参加、ご協力ください。

主催：和食文化国民会議 後援：文部科学省 厚生労働省 農林水産省

小・中学校、幼稚園、保育所等にご協力いただきたいこと

■ 和食給食の提供

- 11月24日または、11月中の任意の1日の給食を和食献立にしてください。
- その中でだしが感じられる汁物等を提供してください。
(昆布・鰹節・煮干・その他各地域特有のだし材料等天然素材の使用を推奨します)

■ 和食に関する指導の実施

- 和食会議が提供する資料を配布、またはポスター等を活用し(資料、ポスターには、小・中学生用、未就学児用の2種類があります。)、担任の先生と子どもたちで「だし」、「和食」、「郷土料理や食材」を話題にしてください。
- 提供する資料は、裏面が保護者用になっています。子どもたちに持ち帰ってもらい、家庭でも和食文化や、和食が健康につながることを知るきっかけとしてください。



【表面】子どもたち用 だし、和食テキスト
子どもたちに、「だし」や「和食」のことをわかりやすく説明するもの。



【裏面】保護者の方用
「だし」の取り方や「だし」を使った和食レシピを紹介するHPサイト、子どもたちと楽しめる「和食」クイズなどが掲載されています。

その他、先生方用説明資料やポスター等もHPで公開します。ダウンロードして印刷の上、お使いください。

※詳しくはURL
<https://washokujapan.jp/dashi-document/>
をご覧ください。

参加方法は 3 つあります。

和食会議HPより取りまとめ表をダウンロードしていただき参加校名、子どもの参加人数を取りまとめ表に入力

参加方法を選択し、和食会議事務局へメールでお申し込みメール: info@washokujapan.jp



申し込み締め切り日 10月22日(金)

実施日は、11月24日(水)「和食の日」または、11月中の任意の1日

※個別でお申し込みの場合は、パスワードを入力しHPの子どもたち用資料をダウンロードして印刷をお願いします。

※先生用資料は、和食会議HPからダウンロードしていただきます。

一般社団法人 和食文化国民会議

TEL:03-5817-4915 FAX:03-5817-4916

<https://washokujapan.jp>
mail:info@washokujapan.jp

